

高齢者生きがいがづくり 生活支援活動人材育成等事業入門講座

55歳以上の方を対象に、高齢者の現状や生きがいがづくり、地域住民が主体となるさまざまな生活支援活動を学ぶ入門講座を開催します。

高齢者生きがいがづくり・生活支援活動ステップアップ講座

■食事提供

- 日時：令和3年11月13日（土）午前10時～午後4時
- 会場：伝国の杜（米沢市丸の内1丁目2-1）

■移動支援

- 日時：令和3年11月16日（火）
- 会場：遊学館（山形市）・オンライン



定員30名程度

【申し込み・問い合わせ】

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 （公財）山形県生涯学習文化財団学習振興部内
TEL：023-625-6411 / FAX：023-625-6415 / E-mail：yama@gakushubunka.jp

★新型コロナウイルス感染症対策について

- ①状況に応じて内容変更や中止の可能性があります。
- ②講師が来県できない場合には、オンラインでの講演となります。
- ③当日は、検温・マスク着用・定期的な手洗いや手指の消毒等へのご協力をお願いします。



鉄門上人碑

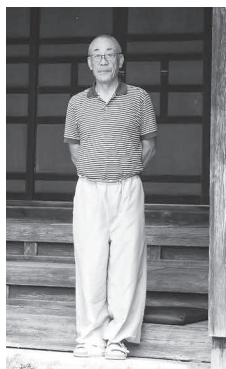


湯殿山碑

鉄門海上人は伝説の多い人物ですが、本名を砂田鉄とい
い宝暦9年（1759年）に
鶴岡大宝寺に生まれたと伝わ

てんもんかいしやうにん
鉄門海上人の碑

さんぽ
白鷹町史談会



ります。青年期は川人足として働きましたが、二人の役人をいさかしの未殺めてしまい、そのまま注連寺へ逃れ、時の住職完能和尚の元で出家し、仏門に入ります。その後、湯殿山での修行を経て衆生救済の旅にでます。

各地で道路や河川、橋等の改修を行い、寺院の再建にも尽力し、民衆を説き、自ら湯殿山行者の先達をつとめ信者を引率して人々の崇敬を集めます。その功績を認められて「海号」をさげられ、鉄門海と称しました。

白鷹では満15歳になると成人の証として三山詣りをする慣わしがあり、三山を篤く信仰していました。蚕桑地区山口の安楽院では、鉄門海上人がしばらく逗留したといわれ、境内に湯殿山の巨石碑を建立しました。村人は上人を慕って巨石碑の傍に鉄門上人の碑を建てて祀っています。（史談会・高橋克範）

あなたも『認知症サポーター』 になりませんか？

年齢を重ねて、たとえ認知症になっても地域で安心して過ごしていくためには、地域の見守り・支え合いがとても大切です。

一人でも多くのかたが、認知症についての正しい理解を持ち、認知症のかたが住み慣れた地域で安心して住み続けられる白鷹町を目指していきます。

認知症サポーターとは？

認知症について正しく理解し、認知症のかたや家族を地域で温かく見守っている応援者です。認知症サポーターは何か特別なことをするのではなく、自分のできる範囲で活動をしています。

町内の認知症サポーター
現在の数・・・

1,813名



こんな活動をしています！

- サポーター1. 友人や家族等周りの人に学んだ知識を伝えています。
- サポーター2. 町中で困っている様子のかたがいたら声をかけるようにしています。
- サポーター3. 認知症に関しての行事があれば、積極的に参加しています。

小学生、中学生、高校生の

認知症サポーターも増えています！

★地域包括支援センターでは、認知症サポーター養成講座を開催しています。

受講ご希望のかたは、地域包括支援センターにお問い合わせください。

受講修了者には認知症サポーターの目印であるオレンジリングを差し上げます！



【問い合わせ】 健康福祉課地域包括支援センター係 ☎ 86 - 0112



(日赤) 柿崎調整監(右)より
佐藤町長へ手渡されました

災害時に備えを！
日赤よりテント交付

6月23日、日本赤十字社山形県支部(吉村美栄子支部長)より、町へ災害救護活動用機材として、ワンタッチテントを交付いただきました。町の奉仕団の、地域に根差した活動が評価されたものです。

近年多発する自然災害や有事の際の迅速な人命救助に備え、有効に活用させていただきます。